



特集 イクメン

イクメンってなに?

イクメンとは、子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと。
または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のことです。



イクメンプロジェクト始動!!

国では

現在、約3割の男性が「育児休業を取得したい」と希望している一方で、実際の取得率は1.72%にとどまっているのが現状です。また、日本の男性が家事・育児をする時間は他の先進国と比べて最低水準となっており、そのことが子どもを持つことや妻の就業維持に対して悪影響を及ぼし、少子化の一因となっていると言われています。

そこで、育児に積極的に参加する男性「イクメン」をより多くの人に周知し、男性の育児休業取得・育児参加を推進するための広報事業として、2010年6月17日に厚生労働省による「イクメンプロジェクト」がスタートしました。

男性の育児休業取得率を現状の1.72%から2017年度には10%に、2020年度には13%に上げることを目標に掲げ、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の調和)の実現に取り組んでいます。

改正 育児・介護休業制度

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律

平成22年6月30日施行

改正前

育児休業の取得期間は子どもが1歳になるまで

育児休業取得は1回のみ

配偶者が専業主婦(夫)の場合は育児休業の対象外(労使協定)による

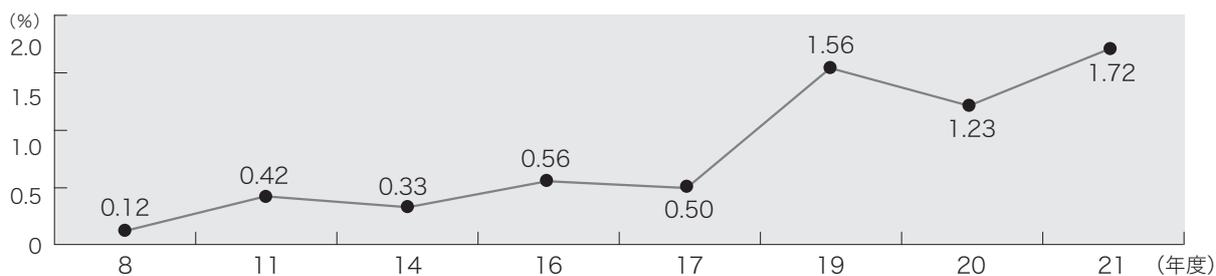
改正ポイント

パパ・ママ育休プラス
両親ともに育児休業を取得する場合は1歳2ヵ月までに延長されました。

夫が育児休業を、妻の出産後8週間以内に取得した場合、1年2ヵ月以内なら再度取得できるようになりました。

全ての父親が必要に応じて育児休業を取得できるようになりました。

男性の育児休業取得率



厚生労働省「平成21年度雇用均等基本調査」

育児休業のメリット（社会保険加入時）

育児休業取得者のメリット

- ・休業中に育児休業給付を全額支給（休業前賃金の50%）
- ・健康保険料・厚生年金保険料の免除（被保険者）
- ・育児について夫婦の信頼関係が深まる
- ・子どものことがよくわかる
- ・仕事一筋のこれまでの生活を振り返るきっかけになる

会社・事業所のメリット

- ・中小企業子育て支援助成金（厚生労働省）
100人以下の中小企業で初めて育児休業取得者が出た場合5人目まで支給（1人目100万円、2人目～5人目まで80万円）
- ・健康保険料・厚生年金保険料の免除（事業主）
- ・仕事の効率化
- ・社員の意欲向上
- ・優秀な人材の確保と定着

男性の育児参加に向けて解決すべき課題

経営層の理解

- ・育児休業を取りづらい雰囲気
- ・経営層、管理職、同僚の理解

働き方の見直し

- ・人員不足
- ・単身赴任
- ・長時間労働
- ・一部の社員に仕事が集中

制度取得による不安を取り除く

- ・周囲に迷惑
- ・キャリアに傷
- ・収入減など

課題への対応策

男性の育児参加に向けた課題を解決するには、意識の面、働き方や両立支援制度・運用の見直し、さらには男性が育児参加しやすいような職場の理解が不可欠です。

また、職場だけでなく、男性が育児休業を取得することへの世間の理解も必要となります。

育児休業取得だけがイクメンじゃない

男性の育児参加には、育児休業を取得することだけでなく幅広い参加の方法が考えられます。

- ・保育園への迎えのために夫婦交代で定時に退社する
- ・子どもの看病や妻の体調不良のために仕事を休む
- ・子どもをお風呂に入れるために早めに退社する
- ・在宅勤務や短時間勤務を利用する

等、家事・育児を役割分担することで夫婦の信頼関係が深まります。

仕事と子育ての両方を充実させ、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）を保ち、男女共に家庭生活の役割と責任を担っていきましょう。

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

少子化対策には、まずイクメン(C) イクメン登場で育児の楽しさ倍増、つらさ半分(K)

☆☆☆ 編集スタッフ ☆☆☆

境谷 葉子、福士 千恵子、三由 恵子、千葉 敦子、笹森 知嘉子